

第6回 水産海洋イノベーションコンソーシアムフォーラム  
「産学・地域連携の取り組みと人材育成」  
日時：令和2年1月24日（金）  
場所：東京海洋大学品川キャンパス楽水会館

# 三陸における地域連携活動

北里大学海洋生命科学部  
附属三陸臨海教育研究センター（SERC）  
地域連携部門 清水恵子  
☎0192-44-2121    ✉keiko.s@kitasato-u.ac.jp

吉浜湾

# 三陸臨海教育研究センター

Sanriku Education and Research Center for Marine Biosciences (SERC)

## 職員

- 教授・特任教授：2名
- 実験補助職員：3名
- 事務職員：4名
- 地域連携担当：1名

## 3階

- 地域交流研修フロア
  - 宿泊設備 定員 54 名（6 人部屋 6 室、4 人部屋 3 室、2 人部屋 1 室、1 人部屋 4 室）
  - 食堂

## 2階

- 事務室（地域連携部門）
- 地域大学共同運営ラボ
- 講義室

## 1階

- 屋内水槽（約450m<sup>2</sup>、海水・淡水供給設備、通気設備）
- 海水ろ過調温設備
- 冷蔵冷凍設備（-30℃、4℃、10℃）
- 食品加工実験室（ミートチョッパー、裏漉し機、蒸し器、擂潰機、フードカッター、フライヤー等）

1号館

屋外水槽

2号館

## 4階

- KAUST
- 応用生物学部門

## 3階

- 環境生物学部門
- 増殖生物学部門

## 2階

- 応用微生物学部門

## 1階

- 実習室

地域交流研修フロア利用実績（2018年度）

1,523名

# S E R C 地域連携部門について

## A) 地域連携窓口

- 技術開発や地域課題に関する相談窓口
- 三陸臨海実習における地域連携
- センター施設見学受付
- 講師派遣、出前講座などの受付

## B) 地域運営共同ラボの管理・運営

- 分析機器類の操作についてのレクチャー
- 分析等の相談窓口
- 機器類、試薬類の管理

## C) 研究成果の普及活動

- 水産関係先訪問
- SANRIKU水産教育拠点形成事業、東北マリンサイエンス事業等の研究成果の普及活動
- 地域課題の抽出

## D) 地域との共同研究

【試験販売】 エゾイソアイナメ（ドンコ）を原料とした水産練り製品

【委託】 さけますふ化放流抜本対策事業

【産学官連携】 サケの長期飼育技術の開発

【新規】 高価格海藻マツモの陸上養殖技術の開発

# IOF研修終了後の三陸地域における地域連携活動

## 【研究成果の普及活動】 『どんこ揚げ蒲鉾』の試験販売

- 未（低）利用水産資源を活用した練り製品作製技術（渡部終五特任教授Gr.）の普及活動。
- 地域連携による『どんこ揚げ蒲鉾』の試験販売を開始。
  - ・ 製造者：非営利型一般社団法人かたつむり
  - ・ 販売元：道の駅「さんりく」
  - ・ 技術支援：北里大学
  - ・ コーディネーター：大船渡市

## 【共同研究の実施】 サケに関する研究についての地域連携

- サケ稚魚の種苗性を向上させる飼育技術の開発  
岩手県水産技術センター、岩手県さけます増殖協会、県内さけふ化場と連携し、実証型飼育試験を実施。
- 三陸におけるサケの長期飼育技術の開発  
大船渡市産学官連携研究開発事業を利用し、盛川漁業協同組合と共同でサケの長期飼育試験および試食会を実施。

## 【地域課題の抽出】 高価格海藻マツモの陸上養殖技術の開発

- (株)阿部伊組との共同研究体制を構築。
  - ・ 背景：天然の褐藻マツモは希少で、高価格で取引されるが、知名度が低い。また、海況変動や漁業者の高齢化により漁獲量が安定せず、商品開発などができない。
  - ・ 目的：褐藻マツモの安定的な周年生産を可能にする陸上生産システムの実用化を目指す。
  - ・ 北里大学の研究シーズ：マツモ糸状体保存株の凍結保存技術および無基質培養技術（難波信由准教授）
- 建設業者である阿部伊組は水産分野の情報を必要としていたので、IOF人材育成事業を紹介し、今年度の合同研修に参加。